

都立世田谷総合高校 令和3年度 年間授業計画

教科・科目(単位数)	情報科・社会と情報(2)
対象年次	1年次
使用教科書	最新社会と情報 新訂版(実教出版)
使用副教材	最新社会と情報 新訂版学習ノート(実教出版) 30時間でマスターOffice2019(実教出版)
科目担当	

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 学期	4 月	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査を行う。 ・コンピュータの起動や終了方法を習得する。 ・自己紹介などの文章を作成し、共有フォルダに保存する実習を行うことで、必要な操作を習得する。 ・コンピュータ教室でのマナーを理解する。 	【評価の観点】 ①情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得できたか ②情報に関する科学的な見方や考え方が養われたか ③社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解しているか ④社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度が育ったか 【評価の方法】 定期考査(Ⅱ)成績と提出物や実技、授業の取り組み等の平常点を勘案して5段階で評価する	2
		1章 情報社会とわたしたち 1. 情報社会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や知識についての意味を理解する。 ・情報のデジタル化によるコミュニケーションの変化を理解する。 ・情報化が人類に利益と幸福をもたらしていることについて理解する。 ・情報化の「影」について、高校生に身近な事例で理解する。 		2
		Word2013による文書作成	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作について理解する。 		4
1 学期	5 月	2. 情報とメディア	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の残存性、複製性、伝播性など情報社会における情報の特徴について理解する。 ・情報とメディアの関係、メディアの分類を理解する。 ・各表現メディアの特性について理解する。 ・マスメディアやインターネット等、情報メディアの特性を理解する。 ・記録メディア、通信メディアなど伝達メディアの特性を理解する。 ・情報の信憑性、信頼性について理解する。 ・メディアリテラシーの意味を理解する。 ・情報伝達における適切なメディアの選択について理解する。 		2
		3. 情報モラルと社会のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の意味と個人情報保護法について理解する。 ・個人情報の漏洩の実態、防止対策について学ぶ。 ・メールやSNSを利用する際のモラルとマナーについて学ぶ。 ・有害サイトやチェーンメール、特にスマートフォン利用の注意点を理解する。 		3
		Word2013による文書作成	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文書の構成について理解する。 		5
1 学期	6 月	3. 情報モラルと社会のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権の構成について理解する。 ・産業財産権の種類と内容について事例を通じて理解する。 ・著作権の構成と各権利の内容、及び例外規定について理解する。 ・著作権の侵害事例について理解し、著作権法を守る態度を身に付ける。 ・情報社会に係わる大切な法律について理解する。 	4	
		Word2013による文書作成	<ul style="list-style-type: none"> ・表を活用した文書の作成について理解する。 	4	
1 学期	7 月	定期考査Ⅱ			
		Word2013による文書作成	<ul style="list-style-type: none"> ・図を活用した文書の作成について理解する。 	2	
2 学期	9 月	2章 情報機器とデジタル表現 1. 情報機器とデジタル	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の種類と特徴、インタフェースについて学ぶ。 ・デジタルカメラの原理や画像・映像の処理について学ぶ。 	【評価の観点】 ①情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得できたか ②情報に関する科学的な見方や考え方が養われたか ③社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や	1
		2. デジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの意味について理解する。 ・デジタル化のメリットについて理解する。 ・情報を2進数で表現することについて理解する。 ・情報量の概念と単位について理解する。 ・2進数と、10進数・16進数の相互変換ができるようにする。 ・文字のデジタル表現について理解する。 		3
		表計算ソフトExcel2013の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトへのデータ入力について実習で学ぶ。 ・相対参照と絶対参照の使い分けについて実習で学ぶ。 		4

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 学期	1 0 月	2. デジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> 音声の標準化, 量子化, 符号化について理解する。 周波数・周期の関係や, 標準化定理について理解する。 デジタルでのカラー表現の原理について学ぶ。 画像のデジタル化の仕組みと, 解像度と階調と画質の関係を理解する。 図形のデジタル表現について理解する。 動画と立体のデジタル表現について学ぶ。 音声のデータ量を求めることができるようにする。 静止画・動画のデータ量を求めることができるようにする。 	影響を理解しているか ④社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度が育ったか 【評価の方法】 定期考査(IV)成績と提出物や実技, 授業の取り組み等の平常点を勘案して5段階で評価する	4
		表計算ソフトExcel2013の利用	<ul style="list-style-type: none"> 各種のグラフとその特徴について学ぶ。 表計算ソフトを使ってグラフを作成する。 表計算を利用してデータの並べ替えができるようにする。 		4
2 学期	1 1 月	4章 コミュニケーションとネットワーク 1. コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩によるメディアの発達の歴史について理解する。 メディアの変遷によるメリット・デメリットについて理解する。 発信者と受信者の人数・位置関係によるコミュニケーションの分類について理解する。 同期・非同期によるコミュニケーションの分類について理解する。 電子メール・ブログ・SNS・ライブ配信サイトなどインターネットにおける機能やサービスを利用したコミュニケーションと留意点について学ぶ。 電子メールやメーリングリストを利用する時のルールとマナーを理解する。 電子掲示板を利用する時のルールとマナーを理解する。 		4
		表計算ソフトExcel2013の利用	<ul style="list-style-type: none"> 表計算を利用してデータの抽出ができるようにする。 表計算ソフトの関数の利用について理解する。 		4
2 学期	1 2 月	定期考査IV			
		表計算ソフトExcel2013の利用	<ul style="list-style-type: none"> SUM, IFなどの関数を利用してデータの統計や, 条件のある計算を実習で習得する。 表計算ソフトの検索用関数(VLOOKUP関数等)を利用して, 条件に合ったデータの検索について実習で学ぶ。 		2
3 学期	1 月	2. ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 回線交換方式とパケット交換方式の違いについて理解する。 パケット交換方式の長所と短所について理解する。 TCP/IPなどプロトコルについて理解する。 クライアントサーバシステムについて学ぶ。 IPアドレスやドメインについて学び, 実習でIPアドレスを確かめる。 WWWについて学び, ブラウザでWebページを表示する仕組みについて理解する。 電子メールの仕組みについて学ぶ。 地図情報, 動画配信サービス等のインターネットサービスについて学ぶ。 転送速度とデータ量の基本的な計算ができるようにする。 情報を正確かつ効率的に転送する工夫について理解する。 デジタル情報の圧縮について理解する。 	【評価の観点】 ①情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得できたか ②情報に関する科学的な見方や考え方が養われたか ③社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解しているか ④社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度が育ったか 【評価の方法】 1年間の定期考査成績と提出物や実技, 授業の取り組み等の平常点を勘案して5段階で評価する	3
		プレゼンテーションソフトの利用	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション実施の流れについて学ぶ。 プレゼンテーションのリハーサルや実施上の留意点について理解する。 プレゼンテーションの評価方法について学ぶ。 静止画と動画の利用効果について実習を通じて学ぶ。 画像と音声の利用効果について実習を通じて学ぶ。 		3
3 学期	2 月	3. 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータウイルスの種類や被害の状況, 及びその対策について理解する。 情報を暗号化する方式(共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式)について理解する。 デジタル署名, 電子透かし, アクセス制御などセキュリティ技術の方法について理解する。 情報のフィルタリングについて理解する。 企業や組織のセキュリティ対策の必要性を理解する。 情報セキュリティポリシーの目的・内容や実際の事例について学ぶ。 		3
		プレゼンテーションソフトの利用	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション実施の流れについて学ぶ。 プレゼンテーションのリハーサルや実施上の留意点について理解する。 プレゼンテーションの評価方法について学ぶ。 静止画と動画の利用効果について実習を通じて学ぶ。 画像と音声の利用効果について実習を通じて学ぶ。 		3
3 学期	3 月	5章 情報社会と問題解決 1. 情報システムと人間	<ul style="list-style-type: none"> 座席の予約やPOSなど身近な情報システムの仕組みと働きについて学ぶ。 行政や企業の情報システムについて学ぶ。 クラウドコンピューティングの概要を知る。 ユーザインタフェースの工夫やアクセシビリティについて事例で学ぶ。 情報の受け手のことを考えた情報表現やユーザビリティの工夫について考える。 サイバー犯罪の種類と具体例を理解し, 受信者のリスクや対策について考える。 		4
		定期考査V			
計					70